

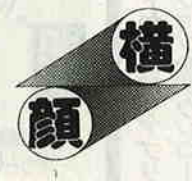
平成22年度 プレス金型保全技術者育成基礎講座 開講式

～ 大分県ものづくり基盤技術集積事業 ～

主催: 大分県・大分県立工科短期大学校  
 協力: ダイハツ九州(株)・明星金属工業(株)・大分県自動車関連企業会・大分県立中津東高等学校



5月1日就任した。大分県は自動車や半導体関連企業などを誘致し、地元企業と連携して産業を集積した実績がある。また温泉など観光資源も豊富だ。「これらの宝にますます磨きをかけるべく、光る施策を打っていきたい」と抱負を語る。



向けて、積極的にチャレンジする地元企業に期待する一方、それを大分県商工労働部長に就任した

山本 和徳氏

「光る産業集積は次の産業集積を呼ぶ。成長著しいアジアに負けないよう地元企業の競争力も高めていく」考え、技術力向上などに

支える支援体制についても「現場主義、スピード、改革・挑戦を掲げる職員とともに」層、加速させたい」と



「時間は見つけて県内を巡り、温泉や料理に舌鼓を打ちたい」とか。楽しみは膨らむばかり。

(大分)

やまもと・かずのり 93年(平5)東大法学部、同年通商産業省(現経済産業省)入省。09年商務情報政策局情報政策課長補佐兼大臣官房政策企画委員。福井県出身。40歳。

**目指せ車の生産拠点**

【大分】大分県は自動車産業の生産拠点を目標として、ダイハツ九州(大分県中津市)など産学官が連携した「プレス金型保全技術者育成基礎講座」の開講式(写真)を県立工科短期大学校(同中津市)で開いた。モノづくりの基

**大分県、産学官連携の金型技術者講座 開講**

本となる金型技術者を育成し、北部九州地域の自動車関連産業の集積を促進する。

同講座は6月から11年2月まで全37回、18.5時間の日程で行う。主に金型プレス関連を手がける県内企業9社から受講生11人が参加した。研修は同大学校で金型の基礎を伝授するほか、ダイハツ九州で実際に使う量産金型の清掃、保全、修理作業などを研修する。

金型保全技術者を育成する講座は全国で初めてという。同大学校は参加した受講生に「いろいろな金型を診断できる金型ドクターになってもらいたい」とエールを送った。

ヨシカワ大分工場(大分県宇佐市)に勤務する受講生の徳永さんは一習得した知識や技術を自社の生産現場で生かしたい」と意欲を語った。

あいさつする受講生の徳永さん